

きたかみ復興ステーションの情報をお届け。

復興ステーション通信

Vol.07

2012.01

あけましておめでとうございます

今年1年きたかみ震災復興ステーションをよろしくお願いいたします

希望あふれる雪明かり

12月31日、雇用促進住宅堤ヶ丘宿舎にお住まいの皆様で、みんなの心が少しでも癒されるように願いを込め、住宅敷地内に手作りの雪明かりが灯されました。

この企画は、新年が少しでも明るいものにしたいという思いで、雇用促進住宅に住む佐々木さんが発案。みんなで協力して約300本のペットボトルにろうソクを入れて、火を灯し、並べられました。

雇用促進住宅にお住いの皆様は、今後も温泉旅行や夏には七夕飾りなども考えておられるとのこと。雪の中に映える炎がとても印象的な年末の風景でした。

(写真提供：雇用促進住宅、橋本様)



ひとことメッセージ

私どもは、震災後北上に来て10か月が経ちました。海の見えない生活を日々淋しく思い、朝起きると「あれ？ここは家じゃないなあ」と思ったり。「あの震災の出来事は、夢だったのではないか」と思ったり。現実を毎朝、かみしめる生活をしております。

いつ、帰れるのだろうか。帰れるのだろうか。と考えることは、帰ることばかりです。もう10か月も経つのに何も進んでいない。進んでいるのだろうか？ 伝わってこない行政に対して、やりようのないストレスが蓄積されているように感じています。

はやく、希望の光を差しのべて 笑顔が出る生活とふるさとに戻れるように1日も早い復興を心待ちにしています。

木村 進昇

きたかみ震災復興ステーションより お知らせ

アートを通じて交流 ~災害支援アートプロジェクト~

12月20日、黒沢尻北高校生徒、黒沢尻北高校美術部員、南中学校職員の16名が大船渡市赤崎町大立仮設住宅団地12棟への花のアートパネルを設置しました。その後、集会所に30名ほど集まり、自己紹介など茶話会を行いました。お手製のおやつに参加者も大喜び。茶話会を通じて、たくさんの皆さんとお知り合いになりました。

参加した高校生から「実際に、来れてよかった。また何かの力になりたい」という感想が多くありました。



みなさんと記念の集合写真



ふるさとカフェ大槌開催

12月27日、大槌町の方からのリクエストにお応えして、ふるさとカフェ大槌を開催いたしました。当日は10名の方々が参加し、これからの生活や地元の思い出話などで盛り上がっていました。

第2回は1月11日から開催しております。ステーションまで遠くて参加できない方でも車の送迎を致します。



除雪にご協力ください

今回のきたかみ絆便で「除雪かわら版」を同封いたしました。ご覧になって除雪の作業へのご理解ご協力をお願いいたします。

ステーションでの配布物

きたかみ震災復興ステーションは、以下のものを配布しております。数に限りがあるものが出てきましたので、なくなった場合はご了承ください。

- ★手帳、カレンダー、掛け布団 (限定7枚)
- ★カイロ、えんぴつ、マスコットポプリ
- ★飲料水、手袋、帽子、ルームシューズ
- ★新しいタオル追加しました (数に限りあり)



※市外へ転居される方は、絆便の送付を停止致しますので、復興ステーションまたは市役所までご連絡くださると幸いです。
ひとことメッセージも募集中です。

復興ステーション 0197-65-0025

E-Mail : fukkou@kitakamicity.jp

北上市役所 0197-64-2111 (内線 3595,3596)